

大友氏顕彰会だより

おおとも

第51号

理事長 牧 達夫
編集 溝部幸祐



令和三年度「会費」の納入

《お願い!》

本年度(令和二年度)も、収支状況が厳しい状況ですので、できる方は三月三十一日までに来年度 令和三年度(三年四月一日)〜四年三月三十一日「会費を納入してください。

なお、法人会員の方には来年度会費の請求書(本年度と同額)を同封しますので、よろしくお願い致します。

定例学習会(案内)

会員学習発表の場として「定例学習会」を、原則として毎月・第一土曜・午後1時30分から開催しています。

会場 南蛮豊後交流館・研修室
住所 大分市顕徳町3-2-45

会費 300円(資料代として)

開催日時(予定)

- 1月30日(土曜) 13時30分〜
- 2月13日(土曜) 13時30分〜
- 3月6日(土曜) 13時30分〜
- 4月3日(土曜) 13時30分〜

※事前の連絡等は不要ですので、ご自由に参加してください。

大友氏顕彰フォーラム in 佐伯

《ご家族ともどもご参加を!》

趣旨 中世・豊後大友時代における佐伯氏の存在と活躍について顕彰し、内外にアピールすると共に大友氏の大河ドラマ化への促進を図る。
併せて「さいき城山桜ホール」の

完成(昨年10月31日オープン)を祝う。

これまで地方でのフォーラム開催は、「臼杵市」「竹田市」「豊後高田市」「玖珠町」に続き「佐伯市」で5回目となる。

日時 3月13日(土曜) 12時50分〜

会場 「さいき城山桜ホール・大ホール」(佐伯市大手町)

入場料 無料

○オープニング「歌唱」

原川二郎 「佐伯市歌」 天友宗麟 「男の港」

○主催者代表あいさつ

牧 達夫 大友氏顕彰会理事長

NHK大河ドラマ「天友宗麟」誘致推進協議会会長

○基調講演

演題 「天神姓・佐伯氏について」

講師 佐藤 巧(佐伯史談会会長)

○パネルディスカッション

テーマ 『大友氏と佐伯氏について』

パネリスト

佐藤 巧 佐伯史談会会長

甲斐 玄洋 佐伯歴史資料館学芸員

若杉 孝宏 大友氏顕彰会副理事長

NHK大河ドラマ 「天友宗麟」

誘致推進協議会事務局長

コーディネーター

牧 達夫 大友氏顕彰会理事長

NHK大河ドラマ 「天友宗麟」

誘致推進協議会会長

○神楽

「宇目神楽保存会」の皆さん

日帰バスツアー（案内）

佐伯フォーラムと早春の旅

に参加しませんか！

大友氏顕彰フォーラムIn佐伯の開催に併せ、大友氏ゆかりの地「佐伯」を訪ねる日帰バスツアーを、次により実施します。

行先 佐伯

日程 令和3年3月13日（土曜）

参加費 7,000円（当日徴収）

集合 参加者は午前8時20分までに、大分駅東「貸切バス乗場」に集合

出発時間 午前8時30分（出発）

行程 大分駅→佐伯市歴史資料館→佐伯

国木田独歩館（昼食・さくら亭）→大友氏顕彰フォーラムin佐伯・さいき城山桜

ホール）に参加→大分駅

申込期限 参加希望者は、2月25日まで

申込先へ申込み願います。

申込先

溝部 幸祐

大友氏顕彰会・事務局長

メール: mizobe88@plum.plala.or.jp

FAX: 097-544-2283

携帯: 090-5485-5157

『大友氏の風景（八）』を出版

大友氏顕彰フォーラムin大分・佐伯に併せ『大友氏の風景（八）』を出版。昨年のフォーラム議事録や、大友氏顕彰会会員の調査・研究成果等を、215頁にわたり掲載。

本の販売額は500円（送料を含む）です。これは印刷費に充当させていただきますのでご了承ください。



また、売れ残っている、『大友氏の風景（四）』（七）』も併せ販売（500円）しています。

なお、完売している、『大友氏の風景（一）』（三）』はまとめて『大友氏の風景（DVD版）』として販売（1000円）しています。

大友氏顕彰フォーラム（報告）

大友氏顕彰フォーラムは昨年まで13回

開催 ①平成23年9月18日・大分市文化会館小ホール（100人参加）②平成24年11月24日・大分商工会議所ビル6階大ホール（270人参加）③平成25年12月1日・大分市コンパルホール1階文化ホール（400人参加）④平成26年10月25日・大分銀行赤レンガ館2階大ホール（250人参加）⑤平成26年11月9日・臼杵市民会館小ホール（250人参加）⑥平成27年10月24日・ホルトホール大分3階大会議室（430人参加）⑦平成27年11月14日・竹田市総合社会福祉センター（200人参加）⑧平成28年10月16日・ホルトホール大分3階大会議室（300人参加）⑨平成28年11月19日・豊後高田市中央公民館（250人参加）⑩平成29年10月22日・大分市コンパルホール3階多目的ホール（200人参加）⑪平成29年11月18日・玖珠町わらべの館大座敷（150人参加）⑫平成31年1月26日・トキハ会館5Fカトレアの間（300人参加）⑬令和元年1

0月6日・トキハ会館5Fローズの間（25人参加）としていた。

本年度「令和2年（2020）」は大分市と佐伯市で2回開催する予定で、大分市では⑭令和2年10月24日・トキハ会館5Fローズの間（200人参加）で開催。佐伯市では⑮令和3年3月13日・さいき城山桜ホールで開催する予定。

フォーラムの目的は「①豊後を四〇〇年にわたって統治した大友氏を顕彰すること②大友宗麟^{そうりん}を中心とするNHK大河ドラマ化を目指すこと」で、これを実現することによって観光および地域の活性化に貢献できるので、大友氏の顕彰・大河ドラマ化に向けての結集の場として開催。

大友氏NHK大河ドラマ化推進フォーラムin大分（報告）

令和2年10月24日（土曜）十三時より、トキハ会館5Fローズの間で、大分市で10回目となる「大友氏顕彰フォーラムin大分」を開催した。

今回は新型コロナウイルス感染防止対策としてマスク着用・検温・除菌を実施し、

密にならないよう定員400人を200人に制限するなど難しい対応を迫られたが、予定どおり200人の市民の出席をいただいた。

◎オープニング歌唱

フォーラムの冒頭に、原川二郎（本名・北島俊一）さんが①大分県行進曲②大分市歌③大友宗麟3曲を熱唱した。



大友宗麟

作詞 乃村栄一
作曲 平田隆夫

一 天^{つらぬ}に貫^まく この誠^{まこと}
今宵の出陣 剣の舞

何を語らん 花の宴

大義に生きる 武士ならば

民の安らぎ 創らんと

嗚呼栄光の 高崎城

二 天に捧ぐる この生命

万雷轟く 勝利の歓声

戦国ロマンの胎動は

文明開化の さきがけぞ

南蛮文化の 星光る

遺徳を偲ぶ 臼杵城

三 天に悟るか この魂

夢に嵐の 渦が巻く

燃える紅蓮の 時代を超え

月煌々の 戸次川

拓く歴史の 舞扇

語り継がれん 鶴賀城

◎主催者代表あいさつ

牧 達夫 大友氏顕彰会理事長

NHK大河ドラマ「天友宗麟」

誘致推進協議会会長

皆さんこんにちは！ コロナ禍の中です

が、何としても「顕彰フォーラム」を開催したいと思ひまして、定員を半分にしたり



【挨拶する牧達夫理事長】

マスク着用や検温・除菌を実施する等して開催できましたことを感謝申し上げます。これまで、鎌倉時代から戦国末期まで、大友氏の歴史を研究してきましたが、その活動の集大成としてNHK大河ドラマを実現させたい。

また、来年度は豊後大友氏のルーツである小田原・鎌倉へ研修旅行として皆さんと一緒にいきたいと思っております。参加費用がたくさんかかりますので、今から貯めておいてください。

今回のフォーラムは「パネルディスカッション」をメインにしております、16時30分まで長いですが、よろしくお願ひします。

◎来賓あいさつ

○佐藤樹一郎 大分市長

コロナ禍の中でイベントが中止になっていいる中、感染防止対策をしながら「天友氏顕彰フォーラム」が大分市で開催できましたことに感謝を申し上げます。

大友氏館跡の「庭園」が復元できまして

【佐藤樹一郎・大分市長】



ライトアップも好評を得ましたので、引き続き市民に愛される庭園にしたいと思えます。また「大友氏館」は2030年復元を目指していますので楽しみにしていただきたい。

大友氏顕彰会の活発な活動がNHK大河ドラマ化につながっていくことを期待しています。

○麻生栄作 大分県議会議員

本年（令和2年）2月25日に 宗麟の

【麻生栄作 大分県議会議員】



大河ドラマ実現に向けて」と題して、県議会議員（39議員出席）への講演がありました。講演者は鹿毛敏夫名古屋大学院大学教授とコーディネーターが牧達夫会長で、県議会議員としても勉強させてもらいました。

また、昨年（令和元年）11月28日に牧会長と一緒にNHKへ大河ドラマ化を要請しました。先日、また牧会長が広瀬県知事と会い、本年度（令和2年度）内にNHKへ要請活動を行うということでした。

○秋吉貢次 神奈川大分県人会会長

前会長「鷺見元吾」氏（死去）の後を継いだばかりですが、黄金の国ジパングと称えられた「豊後・大分」に呼ばれて光栄です。

私が20代のときに、NHK大河ドラマ『独眼竜政宗』に出演したことがありまして、菅原文太さんに斬られる役をやらしました。大友宗麟が大河ドラマになったらぜひ出演したい。



【秋吉貢次・神奈川大分県人会会長】

○佐藤巧 佐伯史談会会長

来年(令和3年)3月13日に 天友氏 顕彰フォーラム」が佐伯で開催されます。佐伯氏は一時期、大友氏と敵対関係もありますが、佐伯も変わりましたので、ぜひとも佐伯に来てほしいと思います。



【佐藤巧 佐伯史談会会長】

◎宗麟公家督相統(1550)

四七〇周年ステージ出演寸劇

【配 役】

大友 義鎮	／	釘宮 裕志
戸次 鑑連	／	山本 輝彦
田北 鑑生	／	若杉 孝宏
臼杵 鑑速	／	林 壯一郎
志賀 親守	／	藤田 賢治
一万田 鑑相	／	北島 俊一
吉岡 長増	／	平岩 禎一郎
斎藤 左馬之助	／	工藤 大輝
小原 鑑元	／	足立 義弘
吉岡 妙林	／	木下 和子

○宗麟公は1530年、豊後府内の大友館に生を受け、それから20年後の1550年2月、「二階崩れの変」によって大友家21代として家督相統した。

この「二階崩れの変」は、20代・義鑑よしあきが家臣の斎藤播磨守、小佐井大和守、津久見実作守、田口蔵人佐ら4人を呼び出し、嫡男の義鎮よししげ(のち宗麟)を廃嫡し、側室の子である塩市丸しおいちまるに家督を継がせたいと宣言

した。4人は義鑑の意向に反対して座を立つと、怒った義鑑は家臣に命じて斎藤・小佐井氏を討たせた。これを知った田口・津久見氏は身の危険から逆に館に侵入し、二階に寝ている塩市丸と側室を殺害、義鑑にも傷を負わせた。義鑑は2日後、義鎮に今後の統治指針となる「柔々」の遺言を書いて没する。

その日の義鎮は別府で湯治中であったが、佐伯惟教これのりの急報を受けると府内に立ち帰り事件を鎮定し、義鎮は家臣の承認を得て、21代の家督を嗣いだ。

義鑑の側室と塩市丸を家督に就けようと画策した義鎮の守役であった事件の首謀者入田親誠にゅうたちかざねは府内から逃亡していた。

○大友義鎮よししげは家臣に、逃亡した入田親誠の討伐と、その背後にあると思われる肥後の菊池義武よしたけの征伐を命じる。

その際、討伐軍と館に残る重臣の振り分けについて義鎮は重臣らに意見を聴く。

義鎮／この度の討伐は入田親誠のみならずその背後で糸を引く肥後の菊池義武も視野



【宗麟公家督相続ステージ寸劇の風景】

に入れておる。そこを思案して討伐軍と留守居組の人选を行いたい、順次答えよ。

〔畠北鑑生・吉岡長増・一万田鑑相・臼杵鑑速・小原鑑元・志賀親守らが順次意見を述べる〕

義鎮／各々の存念、相分かった。それでは余の存念を伝える。留守居役には田北鑑生・吉岡長増・臼杵鑑速・雄城治景。討伐軍には戸次鑑連・志賀親守・一万田鑑相・臼



【大友義鎮（宗麟）／釘宮裕志】

杵鑑速・小原鑑元である。総大将には戸次鑑連、副将に志賀親守を命ず。これが余の下知である。

一同／御屋形様のご存念に異存はございませぬ。一同一致団結して下知に従いまする。

○こうして2月中旬から数カ月、入田親誠討伐を成し遂げ、それから肥後の菊池義武を征伐した。

大きな謀反事件を乗り切った義鎮は1559年、九州探題職と九州六カ国、現在の天分をはじめ福岡・佐賀・長崎・熊本を統治する大大名となった。

○そして1562年、府内から臼杵城に移った義鎮は出家して「瑞峯院宗麟」と名乗り、32歳から大友宗麟と呼ばれるようになった。

それから18年後の1570年、毛利軍と門司や博多の争奪戦を制した宗麟公は、大友家最大の栄華を誇る時代を迎えた。

（次号へ続く）